

由良のとを 渡る舟人 かぢを絶え

ゆくへも知らぬ 恋の道かな

八重葎 しげれる宿の さびしきに

人こそ見えね 秋は来にけり

御垣守 衛士のたく火の 夜はもえ

昼は消えつゝ 物をこそ思へ